

第3・4学年複式国語科学習指導案

日時 平成24年9月28日(金) 5校時

児童 3年生7名 4年生5名

指導者 千葉 章子

【3年生】

【4年生】

- 1 単元名 説明のしかたを考え、例をあげて説明しよう
- 2 学習材名 「すがたをかえる大豆」(筆者：国分牧衛)
「食べ物のひみつを教えます」
- 3 身に付けさせたい言語能力とそれに迫るための中核となる言語活動及び言語活動の特徴

- 1 単元名 段落どうしの関係を考えながら、写真と文章で説明しよう
- 2 学習材名 「アップとルーズで伝える」
(筆者：中谷日出)
「仕事リーフレット」を作ろう
- 3 身に付けさせたい言語能力とそれに迫るための中核となる言語活動及び言語活動の特徴

言語能力

- ・段落の中心文を見つけたり、段落相互の関係をとらえたりする力(読むこと イ)
- ・「中」に書かれた事例を整理しながら読む力(読むこと エ)
- ・文章構成を意識し、事例を挙げながら文章を書く力(書くこと イ)

言語能力

- ・二つのことを対比させたり、写真と文章を対応させたりして読む力(読むこと イ)
- ・書くことを決め、目的に応じて必要な事柄を調べる力(書くこと ア)
- ・伝えたいことが明確になるように、段落相互の関係に注意して文章を書く力(書くこと イ)
- ・書こうとすることの中心を明確にし、事例を挙げて書く力(書くこと ウ)

言語活動

【「食べ物リーフレット」を作る】

ある食材がすがたを変えて、どんな食品になるかを伝えるために、「食べ物リーフレット」を作る。

言語活動

【「仕事リーフレット」を作る】

目的に応じて「アップ」と「ルーズ」の写真を使いわけながら、「仕事リーフレット」を作る。

特徴

- ・リーフレットを「はじめ」「中」「おわり」に分けることで、文章構成を理解することができる。
- ・「中」の部分に事例を並べることで、中心文を正しく読み取ることができる。
- ・自分が選んだ食材について、具体的な例を挙げ並べ方を考えることで、「分かりやすい説明のしかた」について理解することができる。

特徴

- ・写真と文章を対応させることで、段落相互の関係を読み取る事ができる。
- ・「アップ」と「ルーズ」を対比することで、目的による表し方のちがいを理解することができる。
- ・目的に応じて写真と文章を対応させながら説明することで、分かりやすいリーフレットを作ることができる。

4 単元について

(1) 児童について

児童は、1学期に「ありの行列」を学習し、説明文の文章を「はじめ」「中」「おわり」でとらえる見方や、段落ごとに要点を読み取る学習を行ってきた。その中で、形式段落がいくつかまとまって大きなまとまりを作っていることや段落の内容を正しく読み取ることで、段落相互の関係にも目を向けられるようになってきた。しかし、段落の中心文を見つけたり、そこから段落相互の関係をとらえたりする力、また、学習したことを日常の活動の中で生かす力は、まだ十分に身につけていない。このような実態を踏まえ、身に付けさせたい言語能力に迫るために必要な言語能力を押さえていきたい。(指導計画参照)

(2) 学習材について

本単元で取り扱う学習材「すがたをかえる大豆」は、身の回りにある食材をとりあげて書かれた説明文で、児童にも身近な内容である。しかし、見ただけでは大豆からできているとは気付かないものもあり、興味や驚きを感じながら読み進めることのできる学習材である。

「すがたをかえる大豆」は、「いろいろな食品」「おいしく食べる工夫」といった語に着目しながら読み進めることで、大豆がすがたを変えていく事例を読み取ることができる。また、「次に」「また」などの接続後を使いながら、いくつかの事例を簡単な物から紹介することで、分かりやすい説明のしかたにつながっていることを理解することができる。

また、「食べ物のみみつを教えます」は、「すがたをかえる大豆」で学習した「説明のしかた」を活かしながら、情報を収集してリーフレットを作るという活動につなげていくことができる。

(3) 指導について

本単元では、食材がすがたを変えていることを伝えるために、「食べ物リーフレット」を作るという言語活動を通して、単元でねらう言語能力に迫っていききたい。そのために、各段階において、以下のことを工夫していききたい。

つかむ段階では、児童に目的意識をもたせるために、「食べ物リーフレット」を作るという単元のゴール(目的)を知らせ、学習への意欲を高めさせるとともに、単元全体の学習についての見通しをもたせたい。

深める段階では、段落を意識させながら、「中心となる語や文をとらえる読み」を行う。そして、段落ごとに書かれている工夫を読み取りながら、いくつかの「事例」を分かりやすい順に示すという説明のしかたの工夫に気付かせていきたい。

4 単元について

(1) 児童について

児童は、段落相互の関係について考える学習を、3年生の説明文の学習から経験を積み重ねてきている。1学期に学習した「動いて、考えて、また動く」の学習では、文章構成に着目しながら説明文を読み取ってきた。そして、段落ごとに要点をまとめながら読み進めることで、書かれてある内容を的確にとらえることができるようになってきた。しかし、二つのものを対比させて読んだり、写真と文章を対応させて読んだりする力はまだ育っていない。また、そのことを使って分かりやすく伝えることについての意識もまだ弱い。このような実態を踏まえ、身に付けさせたい言語能力に迫るために必要な言語能力を押さえていきたい。(指導計画参照)

(2) 学習材について

本単元で取り扱う学習材「アップとルーズで伝える」は、身近なメディアであるテレビの映像技法を中心に述べたものである。サッカーの試合が例に出されていることもあり、児童にとっては、親しみやすい内容である。一方で、何気なく受け止めている情報が、実は、伝える側の意図に基づいて送られているということに気付くことにより、児童にとっては、情報を受け取る側として、新しい視点が生まれる学習材である。

「アップとルーズで伝える」は、2枚の写真と文章を対応させながら読むことや、二つのことを「対比して述べる」という説明の仕方を学習することができる。また、それは読み手に分かりやすく伝えるための工夫であることを理解することができる。

また、「仕事リーフレット」を作ろうでは、「アップとルーズで伝える」で学習した「分かりやすく伝えるための工夫」を活かしながら、写真と文章を対応させたり、二つのことを対比させたりする活動につなげていくことができる。

(3) 指導について

本単元では、「アップ」と「ルーズ」の写真を使いながら、「仕事リーフレット」を作るという言語活動を通して、単元でねらう言語能力に迫っていききたい。そのために、各段階において、以下のことを工夫していききたい。

つかむ段階では、児童に目的意識をもたせるために、「仕事リーフレット」を作るという単元のゴール(目的)を知らせ、学習への意欲を高めさせるとともに、単元全体の学習についての見通しをもたせたい。

深める段階では、アップとルーズの特徴を写真と文章から読み取らせ、2枚の写真と文章を対応させながら読むことや、二つのことを「対比して述べる」という説明の仕方を理解させたい。

活かす段階では、「すがたをかえる大豆」の学習で理解したことを使って、主体的に活動に取り組むことができるよう、自分が調べてみたい食材についてリーフレットを作る活動に取り組ませたい。そのために、単元の始めから並行読書に取り組ませている。

広げる段階では、できあがったリーフレットを友だち同士で交流することを通して、学習への満足感や充実感を高めていきたい。

5 単元の目標

【国語への関心・意欲・態度】

- ・事例をあげた説明の仕方のよさに気付き、自分が表現するとき役に立てようとする。

【書くこと】

- ・構成や段落相互の関係に注意しながら、文章を書くことができる。(イ)

【読むこと】

- ・中心となる語や文に着目し、段落と段落のつながりを考えながら、文章を正しく読むことができる。(イ)
- ・目的に応じて文章を要約することができる。(エ)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解することができる。(ク)

6 単元の評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

- ・事例をあげた説明の仕方のよさに気付き、自分が表現するとき役に立てようとしている。

【書く能力】

- ・段落相互のつながりや役割を意識し、具体的な事例を挙げながら文章を書いている。(イ)

【読む能力】

- ・大豆がすがたを変えることについて中心となる語や文に着目し、段落と段落のつながりを考えながら、文章を正しく読んでいる。(イ)
- ・「中」に書かれた具体的な事例を整理しながら読んでいる。(エ)

【言語についての知識・理解・技能】

- ・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解して、文章を読んでいる。(ク)

活かす段階では、「アップとルーズで伝える」の学習で理解したことを使って、主体的に活動に取り組むことができるよう、社会科見学や身近な人から取材したことをリーフレットにまとめる活動に取り組ませたい。

広げる段階では、できあがったリーフレットを友だち同士で交流することを通して、学習への満足感や充実感を高めていきたい。

5 単元の目標

【国語への関心・意欲・態度】

- ・伝えたいことに応じて表現方法が異なることに気付き、自分が表現するとき役に立てようとする。

【書くこと】

- ・書くことを決め、必要な事柄を調べることができる。(ア)
- ・自分の考えが明確になるように、文章を構成することができる。(イ)
- ・書くことの内容を明確にし、事例を挙げて書くことができる。(ウ)

【読むこと】

- ・文章全体の構成や段落相互の関係を理解することができる。(イ)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・指示語や接続語が文と文との意味のつながりに果たす役割を理解することができる。(ク)

6 単元の評価規準

【国語への関心・意欲・態度】

- ・伝えたいことに応じて表現方法が異なることに気付き、自分が表現するとき役に立てようとしている。

【書く能力】

- ・書くことを決め、必要な事項を調べている。(ア)
- ・写真と文章を対応させ、段落のまとまりを意識しながら文章を書いている。(イ)
- ・書こうとすることの内容を明確にして、写真と文章を対応させたり、二つのことを対比させたりしながら文章を書くことができる。(ウ)

【読む能力】

- ・文章全体の構成や、写真と本文の対応・対比の関係を理解している。(イ)

【言語についての知識・理解・技能】

- ・指示語や接続語は、文章相互の関係、段落相互の関係を示す手がかりになることを理解して文章を読んでいる。(ク)

段階（時数）	主な学習活動	評価規準（評価方法）	身に付けさせたい言語能力に迫るための言語活動の位置付け
<p>【つかむ】 中核となる言語活動を知り、学習の見通しをもつ。 (2)</p>	<p>①「すがたをかえる大豆」と「食べ物のみみつをを教えます」を読み、説明のしかたを学習した上で「食べ物リーフレット」を作るという単元のゴールを知り、並行読書を進める。</p> <p>②学習計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「すがたをかえる大豆」で、説明の仕方を学習し、「食べ物リーフレット」を作ろう。</p> </div>	<p>①大豆が様々な食べ方をされていることに興味をもち、意欲的に学習している。 (発言・シート)【関-1】</p> <p>②学習の見通しをもち、リーフレットを作ることに意欲的に取り組もうとしている。 (発言・シート)【関-2】</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p>【中核となる言語活動】「食べ物リーフレット」を作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章構成 → 「はじめ・中・終わり」の構成を活かす。(○) はじめ…話題提示 中…具体例の提示 終わり…まとめ ・分かりやすく書くための工夫 → 並べ方を考えて具体的な事例を挙げる。(☆) </div>
<p>【深める】 「すがたをかえる大豆」を読み、分かりやすい説明文の書き方を知る。(5)</p>	<p>③「すがたをかえる大豆」を「はじめ」「中」「おわり」に分け、大まかな内容を読み取る。</p> <p>④「はじめ(1～2段落)」「おわり(8～9段落)」の内容を読み取る。</p> <p>⑤⑥「中(3～7段落)」の内容を正しく読み取り、中心文を確認する。</p> <p>⑦説明の仕方の工夫について考える。(本時)</p>	<p>③理由を明確にしながらかつ3つのもとまりに分けている。 (発言・シート)【読イー1】</p> <p>④「はじめ」には話題提示、「おわり」には大豆がいろいろなすがたで食べられている理由が書かれていることが分かる。 (発言・シート)【読イー2】</p> <p>⑤⑥中心となる文や大事な言葉を確認しながら、正しく読み取っている。 (発言・シート)【読エー1】</p> <p>⑦事例の並び方に着目し、「分かりやすく書くための工夫」について理解している。 (発言・シート)【読エー2】</p>	<p>③○文章構成を理解しながら、大まかな内容を読み取ることができる。</p> <p>④○「はじめ」「中」「おわり」に分け、大まかな内容を読み取ることができる。</p> <p>⑤⑥○具体例の提示を正しく読み取ることができる。</p> <p>⑦☆「分かりやすく書くための工夫」について理解することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例の並び方 ・どんな良さがあるのか
<p>【活かす】 事例の並べ方を考えて、「食べ物リーフレット」を作る。 (4)</p>	<p>⑧⑨本で調べたことをもとにしながらかつ、自分が調べたい食材について中心となる語や文をカードに書き、必要な事柄を収集する。</p> <p>⑩事例の並べ方を考え、「中」の部分で工夫する。</p> <p>⑪全体の構成を考えて、リーフレットにまとめる。</p>	<p>⑧⑨リーフレット作りに必要なことを取材している。 (シート)【書-1】</p> <p>⑩⑪学習したことを活かして、リーフレットを作っている。 (シート)【書-2】</p>	<p>⑧⑨☆食材を決めて中心となる語や文を書くことができる。</p> <p>⑩☆分かりやすく書くための事例の並べ方を考えることができる。</p> <p>⑪○構成を考えて、リーフレットを作ることができる。</p>
<p>【広げる】 作成した文章を読み合い、交流する。(2)</p>	<p>⑫友だちが作ったリーフレットを読み合う。</p> <p>⑬リーフレットで紹介された本を読む。</p>	<p>⑫友だちが作ったリーフレットの工夫を見つけようとしている。 (発言・シート)【関-3】</p> <p>⑬食べ物について興味をもちながら読んでいます。 (発言)【関-4】</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px;"> <p>【身に付けさせたい言語能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○段落相互の関係を理解して、文章全体を読む力 (具体的事例) ○書こうとすることの中心を明確にし、事例を挙げて書く力 </div>

身に付けさせたい言語能力を「食べ物リーフレット」の構成要素として盛り込むことで、言語活動を通して言語能力を身に付けさせることに迫る

段階（時数）	主な学習活動	評価規準（評価方法）	身に付けさせたい言語能力に迫るための言語活動の位置付け
<p>【つかむ】 中核となる言語活動を知り、学習の見通しをもつ。 (2)</p>	<p>①単元全体を読み、説明の仕方を学習した上で、「仕事リーフレット」を作るという単元のゴールを知り、並行取材を進める。</p> <p>②学習計画を立てる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「アップとルーズで伝える」で説明の仕方について学習し、「仕事リーフレット」を作ろう。</p> </div>	<p>①題名に興味をもち、意欲的に学習している。 (発言・シート)【関-1】</p> <p>②学習の見通しをもち、「仕事リーフレット」を作ることに意欲的に取り組もうとしている。 (発言・シート)【関-2】</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【中核となる言語活動】「仕事リーフレット」を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成 → アップとルーズの特徴を活かす。(○) ・記述 → 写真と文章の組み合わせを活かす。(☆) </div>
<p>【深める】 「アップとルーズで伝える」を読み、説明の仕方や、説明の工夫について理解する。(6)</p>	<p>③全文を読み、文章全体の構成をつかむ。</p> <p>④写真と文章を対応させて読み1～3段落の関係をつかむ</p> <p>⑤写真と文章を対応させて読み、4～6段落の関係をつかむ（本時）</p> <p>⑥7～8段落を読み、段落の役割を考える。</p> <p>⑦「アップとルーズで伝える」の説明の仕方や、説明のくふうについてまとめる。</p>	<p>③それぞれの段落の役割をとらえ、文章全体の構成をつかんでいる。 (発言・シート)【読-1】</p> <p>④写真と文章を対応させながら読み、アップとルーズの言葉の意味を理解している。 (発言・シート)【読-2】</p> <p>⑤アップとルーズの特徴を理解している。 (発言・シート)【読-3】</p> <p>⑥アップとルーズが目的によって使い分けられていることを理解している。 (発言・シート)【読-4】</p> <p>⑦前時までの学習から、上手な説明の仕方についてまとめることができる。 (発言・シート)【読-5】</p>	<p>③☆写真と文章を対応させながら、全体の文章構成をとらえることができる。</p> <p>④○写真と文章を対応させながらアップとルーズについて理解することができる。</p> <p>⑤☆写真から伝わることと、文章から読みとれることを対応させることができる。</p> <p>⑥○アップとルーズが目的によって使い分けられていることを読み取ることができる。</p> <p>⑦☆説明の仕方や工夫についてまとめることができる。</p>
<p>【活かす】 アップとルーズの特徴を活かして、「仕事リーフレット」を作る。 (4)</p>	<p>⑧教科書のリーフレットを使って、学習したことを確認する。</p> <p>⑨取材したことをカードに書き、必要な事柄・写真を収集する。</p> <p>⑩取材したことを「全体のこと」「部分に着目したこと」に分ける。</p> <p>⑪⑫写真と文章を対応させながら、仕事リーフレットを作る。</p>	<p>⑧目的に応じ、写真と文章が対応していることを確認している。 (発言・シート)【書イー1】</p> <p>⑨リーフレットに必要なことを取材している。 (シート)【書ア-1】</p> <p>⑩書こうとするものの中心を明確にすることができる。 (シート)【書ウ-1】</p> <p>⑪⑫内容に合った写真を選び、文章と対応させながらリーフレットを作っている。 (リーフレット)【書イー-2】</p>	<p>⑧○リーフレットの書き方について確認することができる。</p> <p>⑨☆リーフレットに必要な情報を集めることができる。</p> <p>⑩○取材したことをアップとルーズの視点で分けることができる。</p> <p>⑪⑫○☆写真と文章を対応させて、リーフレットを作ることができる。</p>
<p>【広げる】 作成したリーフレットを読み合い、交流する。(1)</p>	<p>⑬友達が書いたリーフレットを読みあう。</p>	<p>⑬友だちが作ったリーフレットの工夫を見つけようとしている。 (発言・シート)【関-3】</p>	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【身に付けさせたい言語能力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○段落相互の関係を理解して、文章全体を読む力 (対比・対応) ○自分の考えが明確に伝わるように文章を書く力 (写真と文章を対応させる) </div>

身に付けさせたい言語能力を「仕事リーフレット」の構成要素として盛り込むことで、言語活動を通して言語能力を身に付けさせることに迫る

8 本時の指導 (7/13)

(1) 目標

- ・事例の並べ方の工夫について筆者の意図に気付き、そのわけを考えることができる。

(2) 思考力・判断力・表現力を高める指導にあたって

本時では、前時で確認した中心文をもとに、事例の並び方に着目し、分かりやすく書くための工夫を読み取る力をつけさせたい。そのために、前時で確認した中心文を、あえていろいろな順で並べてみることで、筆者の意図に気付かせたい。その際、思考の広がりや深まりを持たせるために、グループで活動させ、自分の考えと友だちの考えを交流させたい。そして、筆者は何のためにそのような順に事例を並べたのかを考えさせることで、説明の仕方の工夫を理解させ、リーフレットにまとめさせたい。

(3) 展開

3 学年			
導上の留意点と評価規準	学習内容	学習活動	時間
<ul style="list-style-type: none"> ・前時までで学んだことの中から、本時につながる学習を想起させる。 ・本時は、「説明の仕方の工夫」について考えることを確認する。 	<p>【前時までの学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「中」の中心文を確認する。 <p>「説明の仕方の工夫」について考える。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 本時につながる学習の想起をする。 2 学習課題を確認する。 	<p>導入</p> <p>⑤</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・前時で確認した中心文（カード）を使って自分なりの並べ方を考えさせる。 ・並べ方を変えながら、筆者の意図に気付かせる。 ・並べ方を工夫することのよさを考えさせる。 <p>【具体的評価規準】</p> <p>4の活動において（読－3）</p> <p>A：分かりやすく説明するための事例の並べ方について筆者の意図を理解し、それにはどんなよさがあるかまでワークシートにまとめることができる。</p> <p>B：分かりやすく説明するための事例の並べ方について筆者の意図を理解、ワークシートにまとめることができる。</p> <p>C 児への支援</p> <p>5つの事例を教科書の順に並べさせ、どのような順に並んでいるかを考えさせる。</p>	<p>【工夫を見つける視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例の順序を確認する。 ・どのような順に並んでいるのかを考える。 <p>【ワークシートにまとめる視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の並べた順と、その意図を理解する。 	<ol style="list-style-type: none"> 3 前時に確認した中心文を自分で並べ直してみる。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 教科書を見ないで並べてみる。 (2) なぜ、そのように並べたかを交流し合う。 (3) 筆者の意図を考える。 4 「説明の仕方の工夫」について全体で確認しワークシートにまとめる。 	<p>間接</p> <p>直接</p> <p>間接</p> <p>32</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容にかかわる項目へのチェックと記述による自己評価をさせる。 ・学習してわかったこと等を発表させ、友達のがんばりを認め合わせる。 ・次時は、学習したことを使って、事例を挙げる順番について考えることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい順に並べることができた。 ・筆者の意図を考えることができた。 ・「分かりやすく書くための工夫」を活かしてリーフレットを作る。 	<ol style="list-style-type: none"> 5 学習のまとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> (1) 本時で学んだことを確認する。 (2) 発表する。 6 次時の学習内容を確かめる。 	<p>まとめ</p> <p>⑧</p>

8 本時の指導 (5/13)

(1) 目標

・写真と文章を対応させながら読み取り、「アップ」と「ルーズ」の特徴や、段落の相互関係をつかむことができる。

(2) 思考力・判断力・表現力を高める指導にあたって

本時では、写真と文章を対応させることで、「アップ」と「ルーズ」には、それぞれどのような特徴があるのかを読み取る力をつけさせたい。そのために、それぞれの段落がどの写真と対応しているのかを確認させる。また、特徴を読み取る際には、「しかし」「でも」の接続詞や、「～分かります」「～分かりません」の文末表現に着目させたい。また、4・5段落が同じ構成で、対比されて書かれていることをおさえさせる。その後、段落相互の関係にも着目させ、図に示すことで3つの段落の関係を確認させたい。そして、読み取ったことをもとに、アップとルーズのちがいを自分の言葉でまとめることによって、理解を確実なものにしていきたい。

(3) 展開

4 学年			
時間	学習活動	学習内容	指導上の留意点と評価規準
導入 ⑤	1 本時につながる学習の想起をする。	【前時までの学習】 ・「アップ」と「ルーズ」の意味 ・問い→アップとルーズではどんなちがいがあるのでしょうか。	・ 前時までで学んだことの中から、本時につながる学習を想起させる。 ・ 4段落以降に、「問い」に対する「答え」があることを確認する。
	2 学習課題を確認する。 「アップ」と「ルーズ」のちがいを読み取ろう。		
直接 間接	3 「アップ」と「ルーズ」の特徴を、写真と対応させながら読み取る。 (1) それぞれの写真に対応する文を確認する。 (2) それぞれに「分かること」と「分からないこと」があることを確認し、ワークシートにまとめる。	【写真と文章を対応させる視点】 ・「～分かります。」→「伝えられること」 ・「～分かりません」→「伝えられないこと」 ・接続詞「しかし」「でも」に着目 ・短い文(要点)でまとめる。 【アップとルーズを対比させる視点】 ・4段落も5段落、接続詞「しかし」「でも」を境に、それぞれの長所・短所が書かれている。 ・「細かい部分の様子」「広いほんいの様子」	・ 接続詞「しかし」「でも」の役割に着目させる。 ・ 写真と文章を対応させながら読み取らせる。 ・ 「アップ」と「ルーズ」を対比させながら説明していることを確認する。 【具体的評価規準】 4の活動において(読-3) A: 読みとったことをもとに、「アップ」と「ルーズ」の特徴を理解し、対比させることの良さに気付くことができる。 B: 読み取ったことをもとに、「アップ」と「ルーズ」を対比させながら、それぞれの特徴を短い言葉でまとめ、お互いの長所・短所が逆転していることを理解している。 C 児への支援 「アップ」と「ルーズ」それぞれの「伝えられること」「伝えられないこと」が何なのかを確認させる。
	4 4段落と5段落は、対比させながら書かれていることを読み取る。 (1) 4段落と5段落の書き方を比べる。 (2) アップとルーズそれぞれの、「伝えられること」「伝えられないこと」を短い言葉でまとめる。		
直接 ⑥	5 「アップ」と「ルーズ」についてまとめる。	【ちがいをまとめる視点】 ・「このように」が前の2つの段落をまとめている。 ・どちらにも「伝えられること」と「伝えられないこと」がある。	
まとめ ⑧	4 学習のまとめをする。 (1) 本時で学んだことを書く。 (2) 発表する。 5 次時の学習内容を確かめる。	・「アップ」と「ルーズ」のちがいについてまとめることができたか。	・ 学習内容にかかわる項目へのチェックと記述による自己評価をさせる。 ・ 学習してわかったこと等を発表させ、友達のがんばりを認め合わせる。 ・ 次時は、7・8段落を読み取ることを確認する